

# 使途及び税制度設計の確認

---

# 宿泊税の使途

宿泊税の使途については、魅力ある観光地を創造し、観光客の増加及び地域の活性化、さらには地方創生の実現につなげることを基本方針とする。

そうした中、南房総市の観光施策については、人口減少抑制に向けて、市民・事業者・観光関係団体・農林水産関係団体・行政が連携して魅力ある観光地づくりを行い、移住・定住の入り口となる「関係人口の拡大」を図りながら観光振興に通じる地域活性化を図るという目標に向けて取り組んでいく。

ただし、観光を取り巻く状況の変化、求められる施策は常に変化しているため、宿泊税の使途については、数年先の使途の可能性を狭めることなく、柔軟に対応できるよう、活用する事業は毎年度検討することとしつつ、以下の項目については当面の間、重点的に取り組むこととし、併せて、国や県の有利な補助制度を積極的に活用していくこととする。

## 南房総市が想定する事業規模（約6,000万円）

※市の宿泊税率を50円とした場合

|                                              |                                                        |              |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------|
| 地域の魅力「南房総らしさ」の磨き上げ<br>◆花畑の再生（約2,000万円）       | 近年急激に減少している南房総の「お花畑」を現在の観光ニーズに併せて再現させるなど<br>自然環境の維持・整備 | 県<br>3,473万円 |
| 南房総の観光の強力なウリ（目玉）の創出<br>◆フォトスポットの創出（約500万円）   | その地域にしかなく、ニュースソースになるような、そのもの自体が観光目的となるものを創出            |              |
| 時代のニーズに合った情報発信<br>◆情報発信（約500万円）              | インフルエンサーを活用し、情報発信の初動の加速とSNS上での拡散を狙う                    |              |
| 教育旅行・スポーツ大会の誘致<br>◆教育旅行・スポーツ大会の誘致（約500万円）    | 教育旅行への補助（バス、体育館等）、スポーツ大会への補助（大会運営支援、景品提供等）             |              |
| 観光地域づくりコーディネーターの人材確保<br>◆コーディネーター人件費（約800万円） | 花畑再生やフォトスポット作成等、持続的な観光地域づくりを推進できる人材の確保                 | 市<br>2,500万円 |
| 宿泊施設の磨き上げ改修補助<br>◆宿泊施設の改修費（約500万円）           | キャッシュレス化やユニバーサルツーリズムのための改修補助                           |              |
| 徴税経費<br>◆特別徴収義務者への報酬（約200万円）                 | 宿泊税の徴収事務を狙う宿泊事業者に対して報奨金を交付                             |              |
| 宿泊客流出懸念への対応<br>◆宿泊客流出対策費（約1,000万円）           | 宿泊税により他県へ流出してしまう宿泊者への対応                                |              |
|                                              |                                                        | 1            |

## 千葉県が取り組むべき観光振興施策

宿泊税の導入に関する市町村説明会資料より

### ① 観光人材の確保・育成・定着 約11億円

#### ◆魅力ある観光地を形成するためのDMOの人材確保支援事業

高付加価値コンテンツの開発や、専門的知見や外国人目線を有する外部専門人材の登用に係る費用を支援

#### ◆観光・宿泊業の人材不足解消のための設備整備事業

観光・宿泊業の人材不足解消に向け、設備投資などの効率化を通じ、人材の効果的な配置とサービス水準向上を強化する取り組みを支援

(想定例) 受付・案内・掃除・運搬を自動で行う業務用ロボットの導入  
自動精算・自動チェックインシステム、施錠管理システムの導入

### ② 持続可能な観光地づくり 約14億円

#### ◆観光地へのアクセス向上事業

個人旅行者に向けた主要観光地を周遊するバス・タクシーの運行やレンタカーの割引等により観光地へのアクセス向上を支援

#### ◆教育旅行等利用促進事業

県内を周遊する教育旅行等に対し、バス借り上げ費用や宿泊費を支援

### ③ インバウンドの推進 約4億円

#### ◆宿泊施設等のおもてなし環境整備促進事業

宿泊施設等における多言語化、IT環境の整備やキャッシュレス決済端末の導入等、利用者の利便性向上につながる施設整備を支援

(想定例) 施設の案内表示、室内設備の利用案内等の多言語対応  
館内及び客室内におけるWi-Fi整備  
キャッシュレス決済端末の導入

#### ◆千葉への周遊・宿泊促進に向けた広域周遊ツアー造成支援事業

千葉県への周遊・宿泊の促進に向けた、近隣自治体と連携した広域周遊ツアー等の造成の伴走支援や、成田国際空港の利用者の県内周遊・宿泊の促進

### ④ デジタル技術の活用 約3.5億円

#### ◆観光地における観光DX推進事業

県のデータ管理プラットフォーム(DMP)で収集した情報のDMO、事業者等への提供、データ活用に向けた研修の実施及びDMOと事業者間の連携強化支援により観光DXを強力に推進

# 宿泊税の制度設計

| 項目    | 案               | 説明                                                                                          | 県素案との相違点                |
|-------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| ①税率   | 50円<br>(～150円)  | <p>用途の事業規模や宿泊客の流出対策を考慮し50円程度の上乗せが必要。</p> <p>ただし、安房地域での協調や集客力を高める追加施策があれば、150円まで増額を検討する。</p> | 県は一律150円<br>(導入市町村は上乗せ) |
| ②免税点  | なし              | <p>免税点を設けた場合、県と徴収方法が異なることで徴収が複雑化し、事業者に負担がかかる。</p> <p>県のための課税になった場合、宿泊客へ説明できない懸念がある。</p>     | なし                      |
| ③課税免除 | 外国大使等の任務遂行に伴う宿泊 | <p>外交関係に関するウィーン条約に基づく相互主義の観点から、消費税免除の取扱いに準じ、宿泊税を課税免除とする。</p>                                | なし                      |

# 宿泊税の制度設計

| 項目       | 説明                                                                                                                                            | 県素案との相違                                                                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④課税客体    | <p>南房総市内に所在する次の宿泊施設への宿泊行為</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館業法の許可を受けたホテル、旅館、簡易宿所</li> <li>・住宅宿泊事業法に規定する住宅宿泊事業に係る施設（民泊）</li> </ul> | <p>左記に加え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家戦略特別区域法に規定する認定事業に係る施設（特区民泊）</li> </ul> |
| ⑤課税標準    | ④への宿泊数                                                                                                                                        | なし                                                                                            |
| ⑥納税義務者   | ④への宿泊者                                                                                                                                        | なし                                                                                            |
| ⑦特別徴収義務者 | ④の宿泊事業者                                                                                                                                       | なし                                                                                            |

# 宿泊税の制度設計

| 項目          | 説明                                                                | 県素案との相違                              |
|-------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| ⑧徴収方法       | 特別徴収（特別徴収義務者が宿泊者から宿泊税を徴収し、市へ納入する）                                 | なし                                   |
| ⑨申告納入期限     | 基本的には毎月の納付とするが、特別徴収義務者の事務負担に配慮し、先進自治体と同様に3か月分をまとめて申告・納入できる仕組みとする。 | なし                                   |
| ⑩制度の見直し     | 導入初期においては、制度の不具合を早急に把握し適切に対処する必要があるため、初回は3年後とし、以降は千葉県と合わせ見直す。     | 条例施行後5年                              |
| ⑪特別徴収義務者報奨金 | 特別徴収義務者（宿泊事業者）へは、徴収に係る事務的負担や経費的負担を課すことになるため、先進自治体と同程度を支給する。       | 納期内納入額に対して2.5%（導入後の加算措置や上限の設定について検討） |